

図面・写真については  
引き続き検討（調整）



# 平城遷都1300年祭

実施基本計画



平城遷都1300年記念事業協会







# 平城遷都1300年祭

## C O N T E N T S



趣旨・・・・・・・・・・・・・・・・・・2～3



平城遷都1300年祭の概要・・・4～5

I. 平城宮跡事業・・・・・・・・・・6～9

II. 県内各地事業・・・・・・・・10～11

III. 関連広域事業・・・・・・・・12～13

IV. 事前展開事業・・・・・・・・14

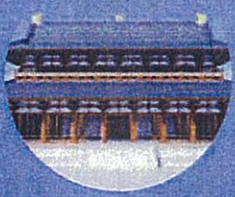


推進にあたって・・・・・・・・・・15

平城宮跡会場の催事・展示展開イメージ・・・16

奈良・平城宮跡へのアクセス・・・17





# 趣旨





邪馬台國 卑弥呼「親魏倭王」に(239年)

大和政権の成立(4~5世紀)

仏教の伝来(538年) ※日本書紀では552年

豊浦宮で即位(推古天皇)(592年) —飛鳥時代のはじまり

斑鳩宮造営(601年)

遣唐使の派遣(630年~)

吉野宮に行幸(持統天皇)(689年 等)

藤原京遷都(694年)

大宝律令の制定(701年)

国号「日本」を唐に伝える(702年)

和同開珎の発行(708年)

## 710年 平城京遷都

平城京諸社寺の建立(710年~)

古事記の撰上(712年)

養老律令の制定(718年)

日本書紀の撰上(720年)

東大寺盧舎那仏像(大仏)の開眼(752年)

鑑真和上 来日(753年)

正倉院に聖武天皇の遺愛品を施入(756年)

万葉集の成立(759年)

# 2010年 平城遷都1300年祭

平城遷都1300年を機に、  
日本の歴史・文化が連綿と続いたことを“祝い、感謝する”  
とともに、“日本のはじまり 奈良”を素材に、  
過去・現在・未来の日本を“考える”。



主会場となる平城宮跡では、往時の建物等の復原整備が進んでいます。



大極殿正殿完成イメージ図

提供: 国(文化庁)

第二次大極殿



写真提供: 奈良市観光協会  
写真: 矢野通彦



朱雀門



東院庭園

写真提供: 奈良市観光協会  
写真: 矢野通彦





# 平城遷都1300年祭の概要

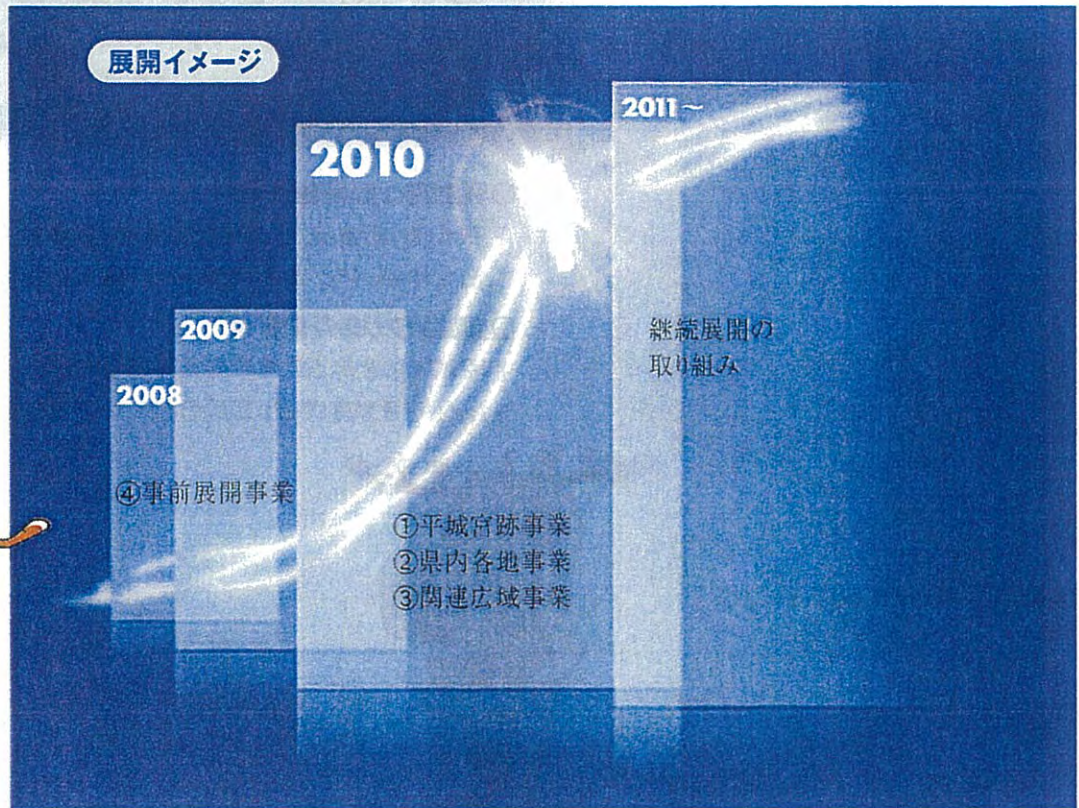
会期	2010(平成22)年1月1日から12月31日	
会場	平城宮跡(主会場) 奈良県内、関西等の各地	
構成	① 平城宮跡事業 ② 県内各地事業 ③ 関連広域事業 ④ 事前展開事業	
規模	《参集者見込み》 ○平城宮跡事業 約 200～ 250万人程度 ○記念イベント全体 約1,200～1,300万人程度 《協会事業規模》 100億円程度	

本実施基本計画は、平城遷都1300年祭の基本的な考え方、事業の構成・規模等を示すものです。

記載の個別イベント等は、実施準備・誘致中のものの他、企画・構想段階のもの、国・県・市町村等協会以外の主体が実施する事業も含まれています。

今後、関係者等との調整とともに、さまざまな意見・アイデアを求め、個別イベント等の実施計画を策定します。

## 展開イメージ







# I. 平城宮跡事業

2010年に、平城宮跡及びその周辺において、通季(春～秋)の展示・イベント等と各季(春・夏・秋)のフェア等を展開し、歴史文化を実体験できる場・機会を提供します。

通季: 2010年4月下旬～11月中旬

## ◆展示施設「平城京歴史館」(仮称)

### ○歴史文化映像シアター

古事記・日本書紀・万葉集等を題材にした日本のこころ、仏教伝来、遣唐使、シルクロード、平城京(宮)造営等をテーマに、バーチャル映像やアニメーションで再現。



### ○平城京(宮)解説展示

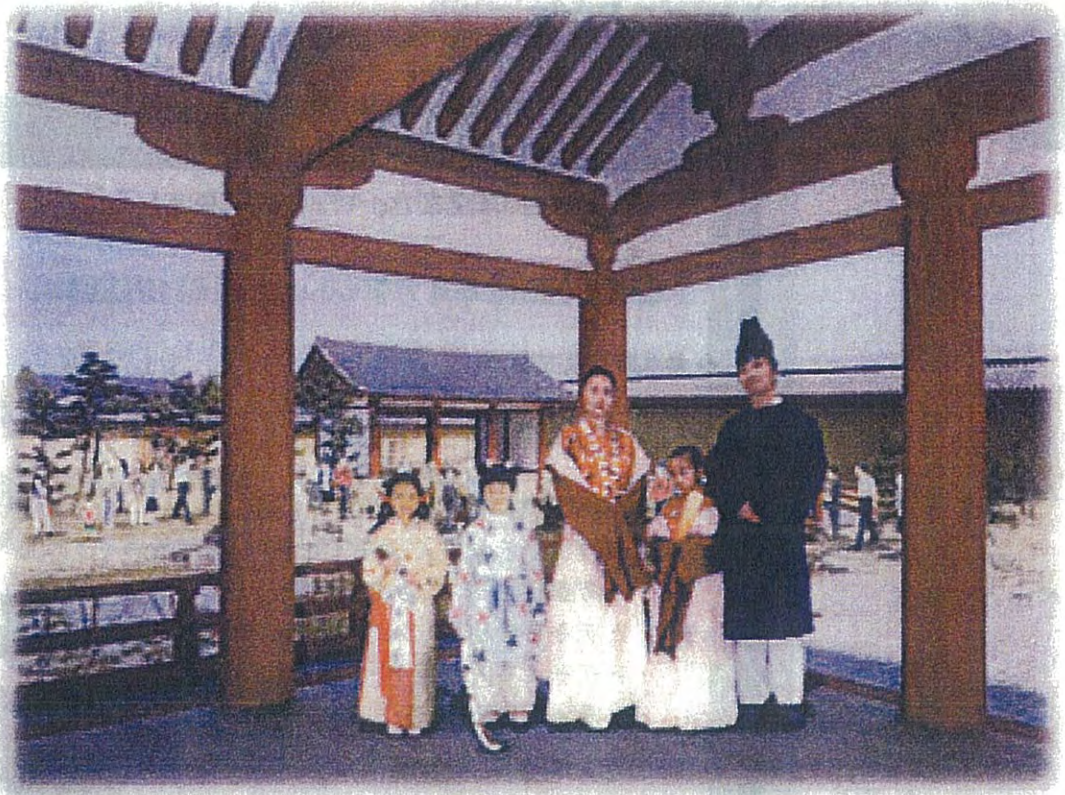
平城京(宮)の造営、その時代の人々、当時の生活や福祉・医療なども含め、映像・ジオラマ・模型等の多様な手法により解説展示。

### ○国宝レプリカ等の展示

平城宮跡を起点に県内各地の国宝(社寺)等への周遊の契機をつくるため、平城宮跡(周辺)での国宝レプリカ等の展示。







平城宮跡探訪ツアー



写真提供: 奈良文化財研究所、奥村彪生

### ◆体験型イベント「天平の旅」(仮称)

#### ○古代の衣・食・住・遊・学のなりきり体験楽習

大極殿等の復原施設などを活用し、平城京の時代の人々の生活を体験する機会を提供。

### ◆平城宮跡探訪ツアー

#### ○ボランティア、専門家の解説により平城宮跡を周遊・楽習

#### ○発掘見学、疑似発掘体験機会の提供

#### ○携帯電話・端末を活用したセルフガイドシステムの検討 など



### ◆古代行事の再現「衛士交代」(仮称)

### ◆総合情報案内センター「四季のなら館」(仮称)

#### ○奈良県内の文化・観光・行催事・周遊ルート情報の提供





# I.平城宮跡事業

2009年12月31日～2010年1月1日

平城遷都1300年記念イヤーの始まりを告げるイベント

春季: 2010年4月下旬～5月上旬(約2週間)

## ◆大極殿完成式典

- 復原整備が進められている第一次大極殿正殿の完成を祝う式典

## ◆花と緑のフェア

- 万葉植物を含め、花と緑で往時の平城宮を華やかに再現
  - ・ 万葉植物等による遺構演出
  - ・ 天平時代をテーマとした造形花壇
  - ・ アーティスト・市民・子どもによる参加催事
  - ・ 華道関連催事、チェーンソーアート など
- 古代催事「歌垣」の再現
- 平城遷都祭2010



夏季: 2010年8月中旬～8月下旬(約2週間)

## ◆光と灯りのフェア

- 復原建物のライトアップや「なら燈花会」と連携した演出などにより、往時の平城宮を光と灯りで再現
  - ・ 朱雀門等の復原建物のライトアップ
  - ・ 平城宮 光の回廊
  - ・ 朱雀門音絵巻(古楽器コンサート) など





秋季：2010年10月上旬～11月中旬（約1ヶ月半）

### ◆平城遷都1300年記念祝典

[趣 旨] 平城遷都1300年を機に、日本の伝統・文化が比類なく維持されてきたことに感謝し、これを祝い、その価値をさらに永続的に将来に継承・発展させたいとの願いをメッセージに託し、奈良から広く国の内外に発信する。

[会 場] 平城宮跡第一次大極殿院

- [内 容]
- 式典
  - 記念顕彰
  - 「平城京宣言」(仮称)
  - 祝祭イベント

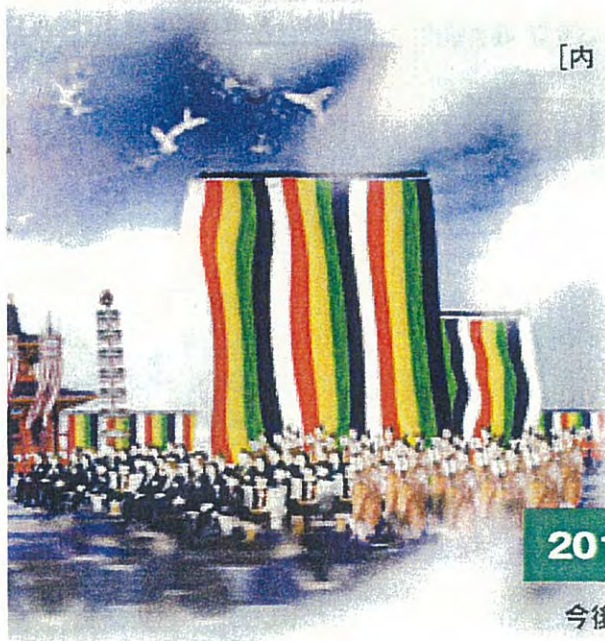
[参加者] 内外の来賓、政府・自治体等関係者、関西・地元各界関係者、県民・市民の代表 等



### ◆平城京フェア

[趣 旨] 大極殿院・朝堂院・朱雀門周辺・東院庭園等での古代行事再現イベントなど、歴史体感・文化創造を中心テーマ・コンテンツとしたイベントを展開。

- [内 容]
- 古代行事の再現
    - ・ 外国使節団の歓迎儀式
    - ・ 騎射(きしゃ)・射礼(じらい)
    - ・ 相撲節会(すまいのせちえ)
    - ・ 蹴鞠
    - ・ 曲水(こくすい)の宴 など
  - 「大極殿音絵巻」
    - ・ 大極殿前庭でのコンサート等
  - 東アジア・シルクロード諸国等との交流催事及び展示
  - 市民等参加催事 など



2010年12月31日

今後の継続的な展開に向けたイベント





## Ⅱ. 県内各地事業

2010年の1年間を通して、奈良県内の国宝など歴史・文化に親しめる周遊型イベント等を実施します。

通季: 2010年1月~12月

### ◆「奈良歴史探訪回廊」(仮称)

[趣 旨] 平城宮跡を日本の歴史を知るためのアクセスポイントとし、宮跡をゲートウェイに、奈良県内の国宝など歴史文化資源を探訪できるルートを形成。

- [内 容]
- 平城宮跡(周辺)での国宝レプリカ等の展示(再掲)
  - 各社寺における国宝等の秘宝秘仏特別公開、特別法要、特別祭祀、特別講話 等
  - 広域的な社寺等周遊ルートの構築 など

平城宮跡

斑鳩

法隆寺地域の仏教建造物



法隆寺



當麻寺

飛鳥・藤原の宮都と

飛鳥・藤原京

◆市町村テーマイベント

◆歴史探訪ウォーク

◆歴史文化を活用した各種スポーツイベント

◆各所における歴史文化の展示・展覧

◆多様な主体が実施するイベント等との連携 など



葛城古道



紀伊山地の霊場と参詣道



崇山寺



熊野参詣道小辺路



## 2010年1月~4月

- ◆記念イヤーの始まりを告げるイベント
- ◆シンボルイベント(斑鳩)
- ◆市町村テーマイベント など

## 2010年4月~6月

- ◆シンボルイベント(飛鳥・藤原)
- ◆市町村テーマイベント
- ◆奈良まちおこし結び会
- ◆特別展覧会「遣唐使展」(仮称)
- ◆県立万葉文化館特別企画展 など

## 2010年7月~9月

- ◆シンボルイベント(吉野)
- ◆市町村テーマイベント
- ◆「工房街道アートプロジェクト」(仮称)
- ◆なら燈花会 2010
- ◆バサラ祭り 2010 など

## 2010年10月~12月

- ◆市町村テーマイベント
- ◆正倉院展
- ◆全国都市緑化フェア
- ◆特別展覧会「国際書法交流日本大展」
- ◆県立万葉文化館特別展
- ◆県立美術館特別企画展
- ◆平成万葉・千人一首完成記念イベント
- ◆今後の継続的な展開に向けたイベント など

### 古都奈良の文化財



山の辺の道



長谷寺



室生寺



曾爾高原

### の関連資産群

吉野



石舞台古墳



吉野山



大台ヶ原



大峯奥駈道

写真提供: 奈良県観光振興課(曾爾高原、大台ヶ原、大峯奥駈道、熊野小辺路)  
奈良県観光連盟(石舞台古墳、吉野山)  
加西市(葛城古道)



### Ⅲ. 関連広域事業

「平城宮跡事業」「県内各地事業」に関連して、コンベンション、フォーラム、古京ゆかりの各地等との連携イベントなどを県内外で実施します。

#### ◆「平城京賢人会議」(仮称)

[趣 旨] 国の内外からノーベル賞・文化勲章級の世界の頭脳と言える有識者を招き、“日本のはじまり奈良”の歴史文化資源を素材に、国や文化のあり方を討議・提起する。

[期 間] 2010(平成22)年秋ごろ(2～3日)

[内 容] ○ 基調フォーラムと全体討議  
○ 分科会によるテーマ別シンポジウム  
○ アドバンシング・セッション(メッセージの発信)

金剛寺



#### ◆コンベンションの開催

- APEC観光大臣会合
- 世界宗教者平和会議(40周年記念式典)
- 世界歴史都市会議
- 日本ベンクラブ「平和の日」の集い
- 日本ユネスコ運動全国大会 in 奈良
- 国際文化フォーラム
- 「平城京フォーラム2010」(仮称)
- 万葉集成立1250年記念シンポジウム
- NARA万葉世界賞記念シンポジウム など  
(現在誘致中のものを含む)



能楽

人形浄瑠璃文楽



能楽と人形浄瑠璃文楽

#### ◆関西や全国各地との連携イベント

- 古京ゆかりの地での連携イベント
- 「宮跡」「国宝」「世界遺産」の広域周遊型イベント
- 万葉故地とのネットワーク型イベント など





国宝 彦根城

龍安寺石庭



世界遺産  
古都京都の文化財



世界遺産 姫路城

春日大社



薬師寺



東大寺



唐招提寺



元興寺



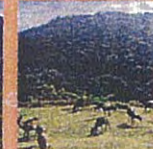
平城宮跡



興福寺



春日山原始林



世界遺産 古都奈良の文化財

写真提供: 奈良県観光連盟

大津京

平安京

長岡京

紫香染宮

恭仁京

難波京

平城宮跡

斑鳩宮

飛鳥・藤原京

吉野難宮



世界遺産  
法隆寺地域の仏教建造物

石舞台古道



藤原宮跡



飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群

吉野山

熊野参詣道



世界遺産  
紀伊山地の霊場と参詣道





## IV. 事前展開事業

2008年から、奈良への来訪や歴史・文化への興味と関心を高められる取り組みを展開します。

### ◆「奈良の‘都’フォーラム」(仮称)

[趣 旨] 2010年に向けて、日本の歴史文化への「知的」興奮を呼び起こす、各種フォーラムを戦略的に組み合わせて開催。

[期 間] 2008(平成20)年～

[場 所] 首都圏、関西、奈良県内

[内 容] ○「平城京フォーラム」(仮称)等

: 首都圏、関西、奈良県内で歴史文化をテーマに展開

○「古都奈良の魅力国際フォーラム」(仮称)

: 奈良県内で世界遺産をテーマに展開 など

### ◆プレイベント等

○ 500日前イベント、250日前イベント、100日前イベント

○ 記念事業コアサポーターの結成

○ 広報キャラバン等による国内外へのPR展開 など

### ◆イメージ広報

○ シンボルマークの活用

○ マスコットキャラクターの制定・活用

○ イメージソングによるPR など

### ◆各種メディア、社寺等との連携

○ 歴史ドラマや社寺等による国宝展覧会等とのタイアップなど、  
マスメディアの活用や他主体事業との連携 など

### ◆効果的な誘客の促進

○ 観光キャンペーンとのタイアップ、旅行商品化の促進

○ 修学旅行・校外学習の誘致促進

○ 外国人観光客の誘致促進

・ 上海万博、大百済展など東アジアのイベントとの連携

・ ビジット・ジャパン・キャンペーンとの連携 など

### ◆「奈良2010年塾」を核とする文化ボランティアの育成







## 推進にあたって

### ◆協会収支(現時点での見込み)

支 出		収 入	
事業費	80億円	公的資金	80億円
総務推進費	20億円	民間資金	20億円
合計	100億円程度	合計	100億円程度

なお、上記支出は、協会が負担する経費を掲げており、国・県・市町村等協会以外の主体の経費は含めていない。

### ◆シンボルマーク



平城遷都  
1300年  
記念事業

世界の多くの人々を招き入れる温かい掌(たなごころ)、“Welcome Hand”。

この掌は同時に、文明を伝えた手、異文化を受け入れる手、数々の建造物や国宝を造り出した先人たちの手。

文化交流の象徴である唐草模様と様々な仏たちの「施無畏印」(せむいいん)がモチーフ。

### ◆マスコットキャラクター



奈良の守り神として多くの人々に親しまれている鹿の角をたくわえた愛嬌のある童子を表現。訪れる人々を古都のさまざまな魅力に誘い、みんなで手を携えて奈良の新たな歴史を築いていく役割を担う。





# 平城宮跡会場の催事・展示展開イメージ

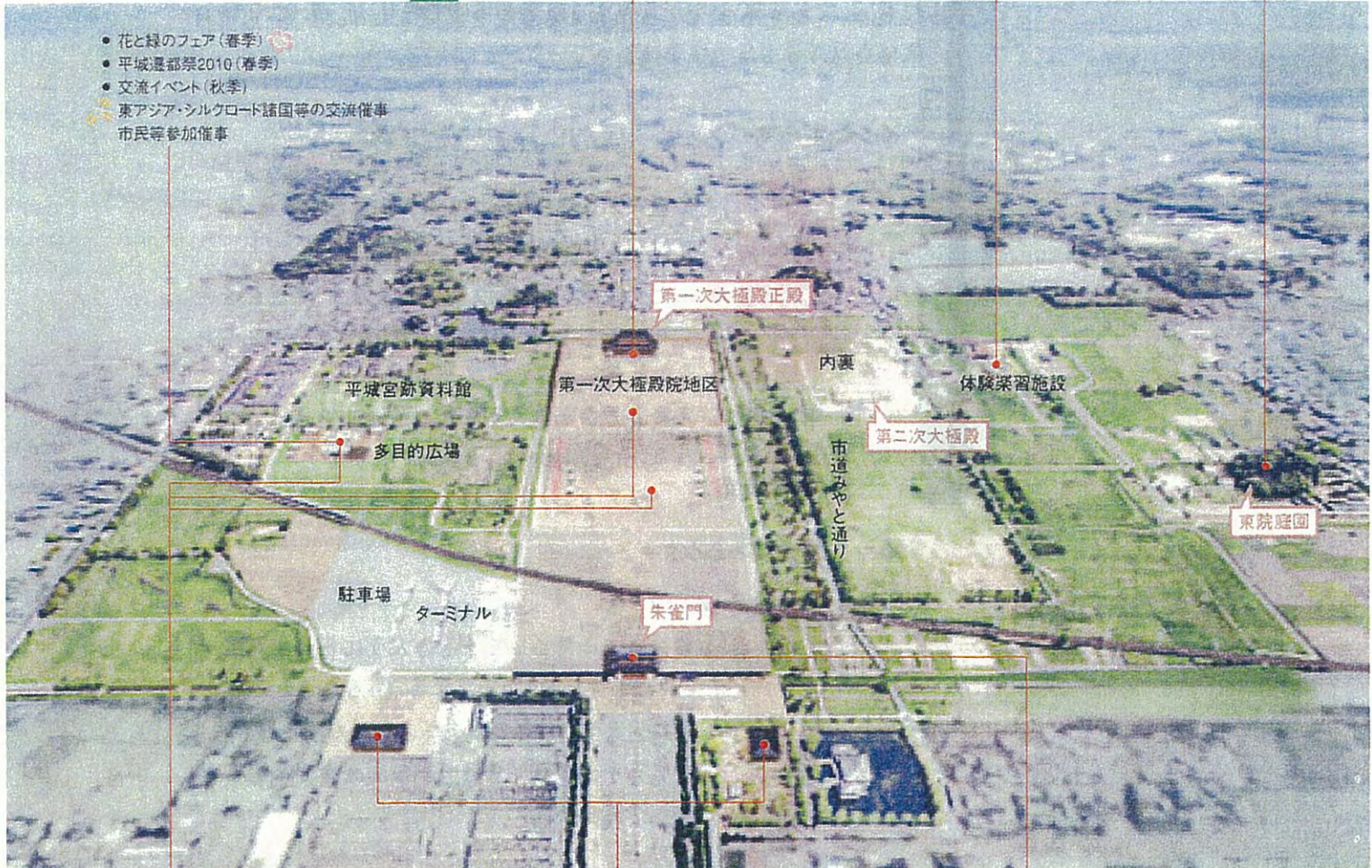


- 大極殿の公開(通季)
- 大極殿完成式典(春季)
- 平城遷都1300年記念祝典(秋季)
- 古代行事の再現(外国使節歓迎の儀式)(秋季)
- 大極殿音絵巻(秋季)



- 平城宮跡探訪ツアー(通季)
- 体験型イベント「天平の旅(仮称)」(通季)

- 古代行事の再現「曲水の宴」(秋季)



- 花と緑のフェア(春季)
- 平城遷都祭2010(春季)
- 交流イベント(秋季)
- 東アジア・シルクロード諸国等の交流催事  
市民等参加催事



- 花と緑のフェア(春季)
- 古代行事の再現「騎射・射礼、相撲節会、蹴鞠など」(秋季)



- 展示施設「平城京歴史館(仮称)」(通季)  
歴史文化映像シアター  
平城京(宮)解説展示  
国宝レプリカ等の展示
- 総合情報案内センター「四季のなら館(仮称)」(通季)  
奈良県内の文化・観光情報等の提供  
平城宮跡探訪ツアー  
体験型イベント「天平の旅(仮称)」

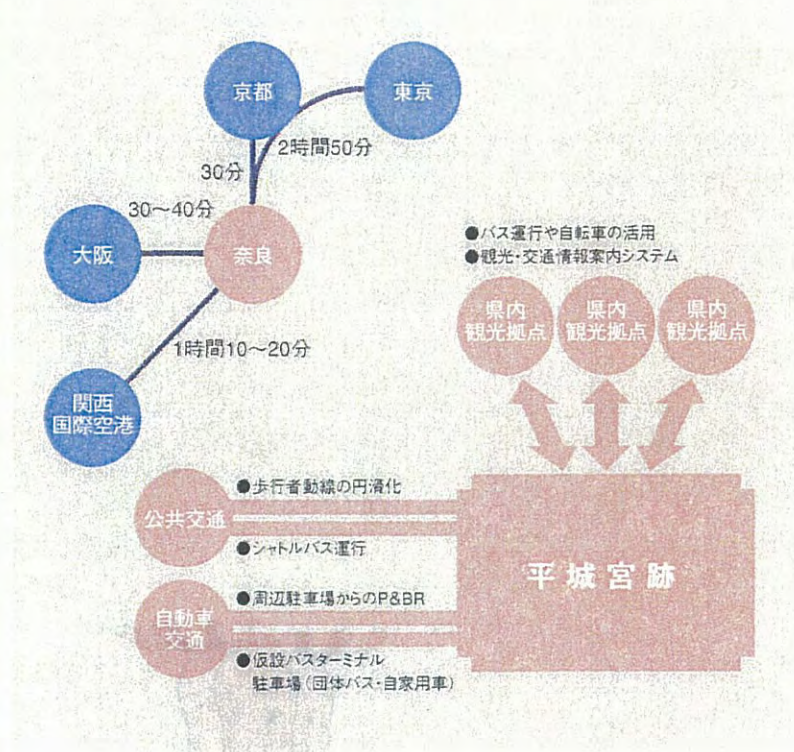


- 古代行事の再現「衛士交代」(通季)
- 花と緑のフェア(春季)
- 古代行事の再現「歌垣」(春季)
- 光と灯りのフェア「朱雀門音絵巻」(夏季)





# 奈良・平城宮跡へのアクセス







平城遷都1300年記念事業協会ホームページ

<http://www.1300.jp/>